



2009年4月20日

会社名 住友化学株式会社
代表者名 社長 廣瀬 博
コード番号 4005
上場取引所 東証・大証1部
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
立元 秀和
(TEL: 03-5543-5102)

サウジ・アラムコとの「ラービグ第2期計画」の共同企業化調査実施について

住友化学は、4月19日、サウジアラビアン・オイル・カンパニー(サウジ・アラムコ)と、「ラービグ第2期計画」について、両社が共同してフィージビリティ・スタディー(企業化調査)を実施するための基本的な枠組みを定めた覚書を締結いたしました。「第2期計画」は、このほど稼働を開始いたしました世界最大級の石油精製・石油化学統合コンプレックスであるラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー(ペトロ・ラービグ社)の「第1期計画」の拡張計画として、今後、住友化学とサウジ・アラムコで、計画の実現に向けた詳細検討を進めてまいります。

本フィージビリティ・スタディーは、ペトロ・ラービグ社の協力も得ながら、住友化学とサウジ・アラムコ両社主導で実施され、2010年第3四半期に完了する予定です。「第2期計画」では、新たに確保する30百万立方フィート/日のエタンと、約3百万トン/年のナフサを主原料に、エタンクラッカーの増設や芳香族プラントの新設を通して、さまざまな高付加価値な石油化学製品を生産することを前提に、投資額等を含め、その事業性を両社で判断してまいります。検討する主な石油化学製品は、EPR(エチレン・プロピレンゴム)、TPO(熱可塑性エラストマー)、MMAモノマー(メチルメタクリレート)、PMMA(メタクリル樹脂)、LDPE/EVA(低密度ポリエチレン/エチレン酢酸ビニール共重合樹脂)、カプロラクタム、ポリオール、キュメン、フェノール/アセトン、アクリル酸、SAP(高吸水性樹脂)とナイロン6樹脂を予定しております。

「第2期計画」は、サウジアラビアで初めて生産する製品も多く含まれており、本計画の実施により、ペトロ・ラービグ社は、世界最大級の石油化学製品コンプレックスとして一段の発展を遂げることとなります。また、本計画では、住友化学や関連する他社の最新鋭の技術を導入し、「第1期計画」との相乗効果、ならびに、サウジアラビアにおけるさらなる雇用創出と川下産業(コンバージョン・インダストリー)の発展を追求してまいります。

住友化学とサウジ・アラムコ両社は、本フィージビリティ・スタディーを迅速に進めるため、プロジェクト・マネジメント・コンサルタントおよびその他のアドバイザーを起用する予定です。両社にて「第2期計画」の事業性が確認できた場合には、ペトロ・ラービグ社が本計画実施の主体者となり、2014年第3四半期までの操業開始を目的に、建設に着手することとなります。

以上